



お寺で楽しむ！

◆川崎市地域文化財◆

乙女文楽

川崎市で59年伝承し続けている伝統人形芝居・乙女文楽の上演です。

◎2026年10月31日(土) 開演 14:00 開場 13:45

会場：東福寺 中原区市ノ坪 45-1

◎2026年11月8日(日) 開演 14:00 開場 13:45

会場：明鏡寺 高津区末長 2-27-42

◎2026年11月15日(日) 開演 14:00 開場 13:45

会場：安立寺 多摩区東生田 1-27-1

※全日とも約1時間のイベントです。会場地図は裏面をご覧ください。

演目：「二人三番叟」 ※人形解説・ミニ体験つき

出演：ひとみ座乙女文楽

対象：川崎市内に在住、在勤、在学中の方（小学生から大人の方まで楽しめます。）

入場料：無料（各回定員30名 事前申し込み制・定員になり次第締め切ります。）

申込開始：9月14日(月) 10時～

●お申込み・お問い合わせ●

公益財団法人 現代人形劇センター

Tel：044-777-2228（受付：平日10時～18時）

Mail：ticket@puppet.or.jp

当日連絡先：090-8234-8756（開催日のみ）

■主催：（公財）現代人形劇センター

■後援：川崎市/川崎市教育委員会/（公財）川崎市文化財団
（公財）かわさき市民活動センター/（公財）川崎市国際交流協会

■助成：文化庁 地域文化財総合活用推進事業



HP



Facebook



X



＜乙女文楽とは？＞

日本を代表する伝統芸能「文楽」から生まれました。

昭和の初めに文楽の人形遣い五世桐竹門造らが始めて人気を

博しました。文楽では3人で1体の人形を操るところを、

人形の仕組みに工夫を施し、1人が1体の人形を操る

「一人遣い」の形式です。また女性のみで演じられてきたのも特色です。



＜出演：ひとみ座乙女文楽＞ ～川崎市地域文化財～

創始者桐竹門造の直弟子である桐竹智恵子師に59年前から教えを受けてプロとして活動する一座です。

師の他界後は、文楽の人形遣い桐竹勘十郎師の指導を仰ぎ、国内外で公演し高い評価を得ています。地元

川崎市での活動にも力を入れ、中原区を中心に小・中学校や高齢者施設での上演、「乙女文楽教室」など、

さまざまなプログラムを開催しています。2018年に川崎市地域文化財として顕彰されました。

＜人形劇団ひとみ座（川崎市）＞

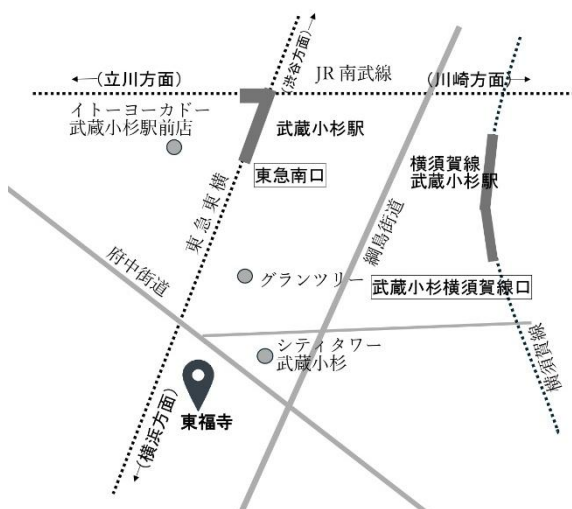
人形劇団ひとみ座は、ひとみ座乙女文楽の母体である劇団です。かつてNHKテレビ「ひょっこりひょう

たん島」でお茶の間で親しまれました。いまは、学校や幼稚園などで子どもたちに向けた活動のほか、乙

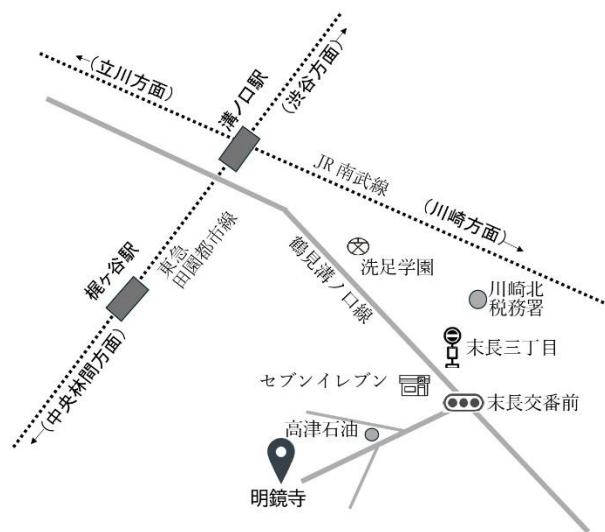
女文楽や大人のための人形劇作品を上演して、幅広い活動を行っています。

会場案内図

○東福寺（10月31日）



○明鏡寺（11月8日）



○安立寺（11月15日）



■東福寺 東急東横線武蔵小杉駅南口徒歩6分

■明鏡寺 ●JR南武線「武蔵溝ノ口」駅・東急田園都市線「溝ノ口」駅より 徒歩18分

●溝ノ口駅より、南口①番乗場から乗車し、バス停「末長3丁目」下車徒歩6分

■安立寺 ●小田急線向ヶ丘遊園駅から徒歩7分

●小田急線・JR南武線登戸駅から徒歩12分